

---

## 2008年度冬学期 第4回 物性セミナー

---

### 「電子線干渉計測法による 電流誘起磁化ダイナミクスの解析」

講師 戸川 欣彦 氏 (理研))

日時 2008年 11月 21日 (金) 午後4時30分～

場所 16号館 827

強磁性体中を流れる電流（スピン流）は伝導電子と局在電子のスピン交換相互作用を通じ磁壁などの磁化構造へトルクを及ぼす。その結果、磁壁がスピン流により駆動されることが近年の研究により明らかになってきた。これはスピントロニクス素子の新たな動作原理を提供するものであり、電流誘起磁化ダイナミクスの詳細を理解することは重要といえる。

我々は、電子線ホログラフィーに代表される電子干渉計測法を用い、パーマロイ細線において電流（スピン流）が誘起する磁化ダイナミクスを微視的に探っている。講演では、動画を交え、観察された電流が引き起こす磁化ダイナミクスの多様さを紹介する。我々はこのような微視的観察に基づき、スピン流を用いたより効率的な磁化制御技術の探求を行っている。

今後の予定：

冬学期の物性セミナーの予定は下記のWEBページで公開しております。

12月5日 大谷 実 氏 (産総研)

「水/白金界面における電気化学反応と構造の第一原理分子動力学シミュレーション」

12月中旬 青木 正直 氏 (UCLA 名誉教授)

Non-self averaging phenomena in macroeconomics(仮)

2月13日 大川祐司氏 (東大駒場・素粒子)

TBA

物性セミナーのページ：

「駒場 物性セミナー」で検索!

<http://huku.c.u-tokyo.ac.jp/cgi-bin/FSwiki/wiki.cgi/BusseiSeminar>

物性セミナー世話人： 加藤雄介， 福島孝治， 簀口友紀， 堺 和光， 猪野和住

問い合わせ先（福島） ex. 46513